

In-Sight® OPC サーバ 5.7.0 リリースノート

© Copyright 1999-2019 Cognex Corporation. All rights reserved.

Revision: 5.7.0.2, 04/10/2019

概要

本書は、Microsoft® Windows® 用の In-Sight OPC サーバについて説明します。本書は次のトピックから構成されます。

- [In-Sight OPC サーバについて](#)
- [システム要件](#)
- [インストール](#)
- [サンプルプロジェクト](#)
- [既知の問題](#)

In-Sight OPC サーバについて

In-Sight OPC サーバは、バージョン 1.0、2.0 および 3.0 の [OPC 仕様](#)に基づき、OPC クライアントから In-Sight スプレッドシートのセルデータへのアクセス方法を提供します。「OPC タグ」をスプレッドシートのデータセルに挿入することで、OPC クライアントは In-Sight のセルデータを得ることができます。タグをセルに適用し、さらにそのタグとその関連値を公開するよう In-Sight OPC サーバの設定をすると、OPC クライアントがデータにアクセスできるようになります。

OPC タグをセルに追加する手順、および、これらのタグを公開するようにサーバを設定する手順については、オンラインヘルプファイルを参照してください。

最新のリリースノートやドキュメンテーション (各国語版も含む) は、[In-Sight オンラインサポートセンター](#)でダウンロードできます。

注: In-Sight 2000 シリーズは、In-Sight OPC サーバをサポートしていません。

システム要件

この節では、In-Sight OPC サーバのシステム要件について説明します。

PC ハードウェア最小要件

ハードウェアの最小要件とは、In-Sight の処理負荷が低い環境で、解像度の低い In-Sight ビジョンシステムを 1 台だけ接続している PC を指します。

- 1.8GHz 動作の Intel® Celeron® 1000M プロセッサ (または同等品)
- 2GB の RAM 空き容量
- 4GB のハードディスク空き容量
- 24 ビットカラーで解像度 1024×768 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。
- In-Sight ビジョンシステムに接続するためのイーサネットネットワークインタフェースカード (100Mbps 以上)

PC ハードウェア推奨要件

推奨されるハードウェア要件とは、同時に 4 台までの In-Sight ビジョンシステムを接続している PC を指します。

- 2.7GHz 動作の Intel® Core™ i7 プロセッサ (または同等品)
- 4GB の RAM 空き容量
- 8GB のハードディスク空き容量
- 32 ビットカラーで解像度 1920×1080 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。
- In-Sight ビジョンシステムに接続するためのギガビット・イーサネットネットワークインタフェースカード

オペレーティングシステム要件

In-Sight ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムで動作することを確認しています。

- Microsoft Windows 10 Professional (64 ビット)
- Microsoft Windows 7 Professional、サービスパック 1 (64 ビット)
- Microsoft Windows Server 2016

In-Sight OPC サーバはそのほかのオペレーティングシステムでも動作することがありますが、前述の要件を満たさないシステムはテストされておらず、サポート対象外です。

言語サポート

- 中国語 (簡体字)
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- 韓国語
- スペイン語 (ヨーロッパ系)

サポートしているファームウェアバージョン

In-Sight 5.7.0 ソフトウェアには、次のファームウェアバージョンが含まれています。

- In-Sight 5.7.0
- In-Sight 5.3.3
- In-Sight 4.10.5

以前のファームウェアを搭載している In-Sight ビジョンシステムは正常に操作することもあります。サポートされていない機能があり、また十分にテストが行われていません。最適なパフォーマンスを得るには、In-Sight Explorer ソフトウェアおよびファームウェアは、最新バージョンを使用してください。モデル一覧およびサポートされているファームウェアバージョンについては、英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプの「Firmware Versions」(ファームウェアバージョンのトピック) をご参照ください。英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプのデフォルトロケーションは、C:\Program Files (x86)\Cognex\In-Sight\In-Sight Explorer 5.x.x\Documentation\Help\Help_ISE_EN.chm です。

In-Sight ファームウェア 5.7.0

- In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステム
- In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステム
- In-Sight Micro 8000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 9000 シリーズビジョンシステム

注: In-Sight 2000 シリーズは、In-Sight OPC サーバをサポートしていません。

In-Sight ファームウェア 5.3.3

- In-Sight Advantage Engine

In-Sight ファームウェア 4.10.5

- In-Sight Micro 1000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 5000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステムを除く)
- In-Sight 7000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステムを除く)

インストール

In-Sight OPC サーバをインストールするユーザには、フル管理者権限が必要です。

Microsoft .NET Framework 4.5

In-Sight ソフトウェアには、Microsoft .NET Framework 4.5 が必要です。システムに検出されない場合、自動的にインストールされません。

ユーザアカウント制御

In-Sight OPC サーバをインストールする前にユーザアカウント制御 (UAC) を無効にしておく必要があります。UAC を無効にするには、次の手順に従ってください。

- **Windows 7/Windows Sever 2008 R2**

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [ユーザアカウントと家族のための安全設定] → [ユーザアカウント] を選択します。
2. [ユーザアカウント制御の有効化または無効化] をクリックします。ここで警告画面が出ますが、[続行] を選びます。
3. **Enter** キーを押します。
4. 再起動すると設定が有効になります。

- **Windows 10**

UAC を無効にするには、レジストリエディタから値を手動で変更する必要があります。

注: コントロールパネル (ユーザアカウント) から UAC を無効にしても、Windows 10 に In-Sight OPC サーバをインストールすることはできません。

1. キーボードの **Windows** ロゴキー + **R** を押します。[実行] ダイアログが開きます。
2. **regedit** とタイプして、[OK] をクリックします。レジストリエディタが開きます。
3. 次の順番に選択します: *HKEY_LOCAL_MACHINE > SOFTWARE > Microsoft > Windows > Current Version > Policies > System*。
4. [EnableLUA] を右クリックし、[変更] を選択します。[DWORD 値の編集] ダイアログが開きます。
5. [値のデータ] を **0** に変更します。
6. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。
7. PC を再起動し、In-Sight OPC サーバをインストールします。

インストール後、UAC をもう一度有効にすることが可能です。しかし、In-Sight OPC サーバをアンインストールするには、UAC を再び一時的に無効にする必要があります。

Windows サービス

バージョン 3.2.0 以降の In-Sight OPC サーバは Windows サービスとして動作します。一度に有効にできるバージョンは 1 つだけです。したがって、OPC サーバの複数のバージョンをインストールしている場合、1 つのバージョンしか動作しません。アクティブなサーバを変更するには、In-Sight OPC Manager (C:¥Program Files¥Cognex¥In-Sight¥In-Sight OPC Server

5.x.x¥OpcServiceManager.exe) を実行します。このユーティリティでは、現在インストールされているすべての OPC サーバの中から 1 つをアクティブに設定することができます。

サンプルプロジェクト

In-Sight OPC サーバのサンプルプロジェクトは、次のフォルダにインストールされます：

C:¥Users¥Public¥Documents¥Cognex¥In-Sight¥In-Sight Sample Projects 5.x.x。 [スタート] メニューから、サンプルフォルダのショートカットにアクセスすることができます。

既知の問題

注: Cognex テクニカルサポートを介して報告された既知の問題を追跡しやすくするために、該当する場合に Change Request 番号 (CR#) が付与されています。

CR#	問題
82479	In-Sight Explorer 5.7.0 を、Microsoft .NET Framework 3.5 を無効にしたシステムにインストールを試みているときに、Windows Update が処理中の場合、エラーメッセージが表示されることがあります: Error installing Microsoft .NET Framework; Error code 0x800f081f 回避策: Windows Update が完了するのを待って (再起動が必要です)、In-Sight Explorer 5.7.0 をインストールしてください。
10378	標準ユーザアカウントで In-Sight OPC サーバの起動または停止を試みると、UAC についてのダイアログが表示されず、失敗します。 回避策: ユーザアカウント制御 (UAC) を [コントロールパネル] (ユーザアカウント) から有効にしてください。
10315	通知領域のアイコンを右クリックして、In-Sight OPC サーバを停止した場合に、サーバは依然として動作状態であるとステータスバーに表示されることがあります。
9869	複数バージョンの In-Sight OPC サーバがインストールされている (4.10.1 と 5.2.0 など) 状態から、バージョン 4.10.1 をアンインストールすると、OPC サーバ 4.10.1 が機能しなくなります。 回避策: Windows の [コントロールパネル] を開き、In-Sight OPC サーバ 5.2.0 インストールソフトウェアを選択し、修復します。または、In-Sight OPC サーバ 5.2.0 をアンインストールしてから、再インストールすることもできます。
7867	In-Sight OPC サーバ 4.x および 3.x の両バージョンがインストールされている場合に、バージョン 3.x をアンインストールすると、GiveServicePath: InstallUtil returned an error code of -1 というエラーメッセージが表示されることがあります。 回避策: In-Sight OPC サーバ 4.x をインストールする前に、バージョン 3.x をアンインストールしてください。In-Sight OPC サーバ 4.x がすでにインストールされている場合、バージョン 3.x をアンインストールした後、Windows の [コントロールパネル] を開き、In-Sight OPC サーバ 4.x インストールソフトウェアを選択し、修復します。